

「幸中生の輝く姿(校内体育大会)」

240530

今年度は、体育大会の時期をずらし、この時期5月に開催しました。また、「たてわり演舞」から、クラス単位の「学級アピール大合戦」に変更されました。準備や段取りに今までとは違った苦労があったと思いますが、生徒の皆さんや先生方の力で、大会の開催にこぎつけました。そして、校内体育大会では、幸中生の輝く姿を多くの場面で見ることができました。

- ・これから跳ぶ走路から砂場をじっと見つめ集中する姿
- ・投げたボールの行方を祈るように見つめる姿
- ・バーを跳び越え、下から突き上げるように高々と拳を振り上げる姿
- ・週数を重ねて苦しいなかでも表情をしながらも、前へ前へと歯を食いしばって走る姿
- ・アルミ缶をしゃがむような姿勢をとって、大事に二人でつなげて走る姿
- ・ハードルに引っ掛かりバランスを崩しながらも、体勢を立て直し駆け抜ける姿
- ・大きく引き離されても、ゴールの一点を目指して歯を食いしばって走る姿
- ・バトンを握りしめてスタートの合図を待つ第1走者
- ・ぎりぎりまで思いっきり手を伸ばして次の走者へバトンを渡す姿
- ・自分のクラスの生徒が競技していると係の仕事忘れて思わず応援をしたり、駆け寄って労いの声を掛けたりする姿
- ・グラウンドに残っていた高跳び用高さ掲示物が風に舞って落ちると、すぐに気付いてさっと係の席からとんできて、机と一緒に片付ける姿
- ・選手コールで一人ひとりの名前を間違えないように丁寧にアナウンスをする姿、そしてその姿を横から後ろから心配そうに見守る姿
- ・競技を終えてテントに戻ってくる仲間を笑顔と歓声と拍手で温かく迎える姿
- ・学級アピール大合戦で1分半の演舞をクラスの個性を出してまとまって表現する姿
- ・幸中の体育大会のもう一つの華は「集団のまとまり」の表現であり、そのまとまりがクラスの枠を超えて、学校全体が一つになる空気が生まれたこと。

